

筑波北部公園再整備 ワークショップニュースレター

普段の公園利用に関するアンケートとヒアリング No.03

ワークショップ1
普段の公園利用に関するアンケートとヒアリング
(オンライン&紙配布)

ワークショップ2
筑波北部公園のステキを集めよう!
-公園内ワーク-

ワークショップ3
インクルーシブな遊びを考えよう (前編)
-グループワーク-

ワークショップ4
インクルーシブな遊びを考えよう (後編)
-グループワーク-

第3回ワークショップでは、はじめに、前回までのワークショップを踏まえた公園インフラ整備の方向性について共有し、その後、その場所でどんな「インクルーシブな遊び」ができるかを考えてもらいました。また、アンケート調査の結果からハード面の課題としてあがっていた「トイレの整備」について、具体的に意見をいただきました。

テーマ1 | あなたなりの視点で遊びやすごし方を考えよう

参加者のみなさんには、用意したワークシートを埋める形で「あそび・すごし方のアイデア」を出し、グループで共有していただきました。

第3回ワークショップの概要

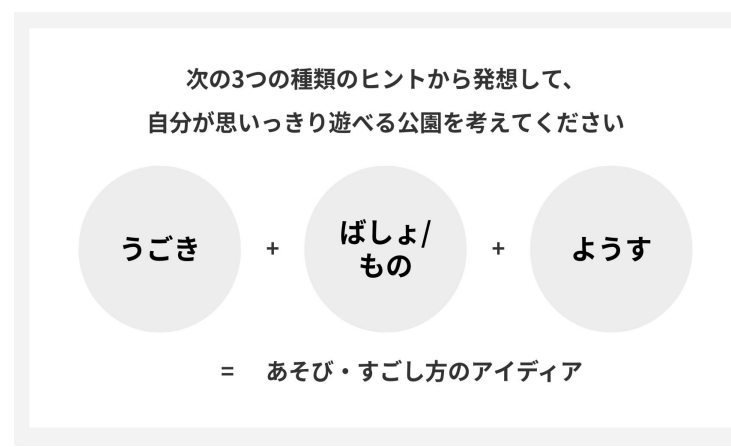
日時：2025年11月16日（日）13:30~15:30

場所：つくば市役所 本庁舎2階 防災会議室

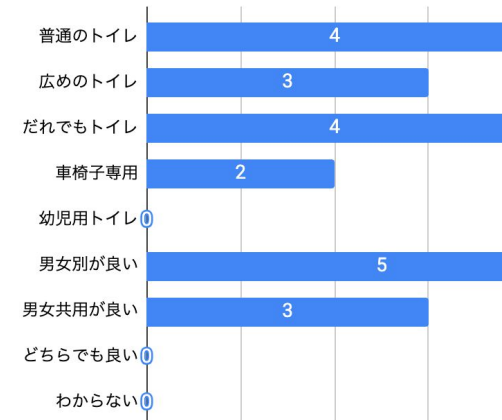
参加者：10名

当日の流れ

1. インプット：インクルーシブってなんだ？つくばに新しくできる「インクルーシブ公園」の考え方の説明
2. テーマ1 | あなたなりの視点で遊びやすごし方を考えよう
3. 休憩
4. 個人ワークをグループでシェア
5. テーマ2：多目的トイレ・休憩空間について
6. クロージング 【グループシェア】



テーマ2 | バリアフリートイレ・休憩空間について



トイレの種類の希望は、回答者の立場によって分散する結果になりました。

実施内容

参加者の皆様に対して、インクルーシブ公園の考え方や方向性について共有し、個人個人が「あそび・すごし方のアイデア」を考え、各々が考えたアイデアについてみんなで共有しました。また、公園に設置を検討しているバリアフリートイレについて、必要な機能及び整備を検討する際に考慮すべき課題について抽出するための個人ワークを行いました。



【アンケートの主な意見】調査の結果、以下のことがわかりました。

- ・誰でも、安心・安全に利用できる環境が求められていた
- ・利用者の特性によって求めている機能は様々であった
- ・トイレの場所がわかりにくい

↓

当事者・支援者を交え、実際の使い勝手をシミュレーションする等の工夫を重ねながら、必要な機能を整理し、施設の配置を検討してまいります。

筑波北部公園再整備 ワークショップニュースレター

普段の公園利用に関する アンケートとヒアリング No.03

ワークショップ1
普段の公園利用に関する
アンケートとヒアリング
(オンライン&紙配布)

ワークショップ2
筑波北部公園の
ステキを集めよう!
-公園内ワーク-

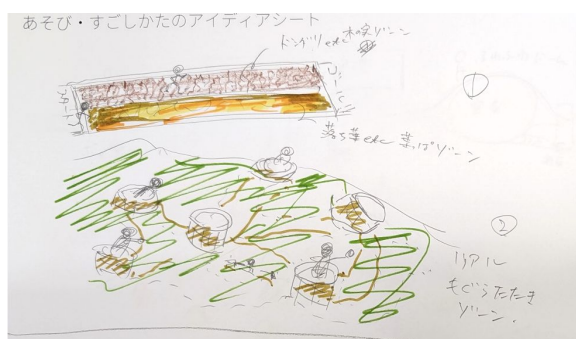
ワークショップ3
インクルーシブな
遊びを考えよう (前編)
-グループワーク-

ワークショップ4
インクルーシブな
遊びを考えよう (後編)
-グループワーク-

インクルーシブな遊びを考えよう 各グループの発表

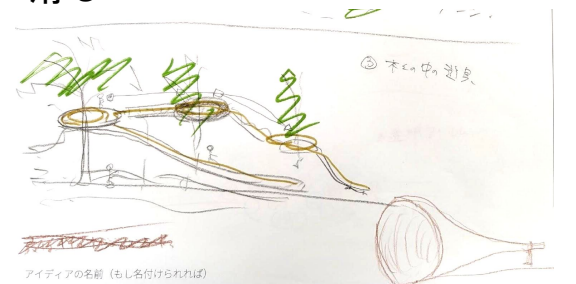
Aグループ

自然を活かしたあそび



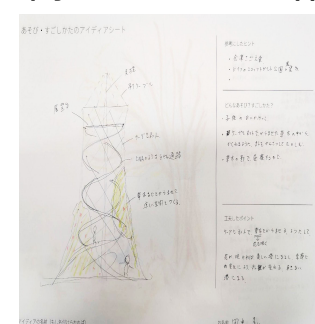
リアルモグラたたき
ゾーン→緑の地面上に
ところどころ、穴(円筒)
が開いており、人が顔を
出せる

滑る



木々の中の遊具 → 間
隔を開けて木が並んで
いる間に滑り台などの
遊具がある

高いところでの体験・目線を変える体験

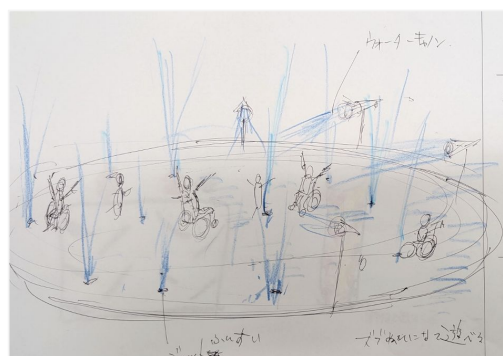


草木がDNAのような螺旋となっ
て上に絡まっている展望台

インクルーシブ遊具を置くだけでは「交流」は生まれぬ／「自然」を目玉にしたインクルーシブ公園ができるといいのでは、という発想から、木のあるエリアを中心とした意見が多く出て、体験しながら自然と交流が生まれるようなイメージが膨らみました。

Bグループ

水遊び・どろんこ・触感の体験



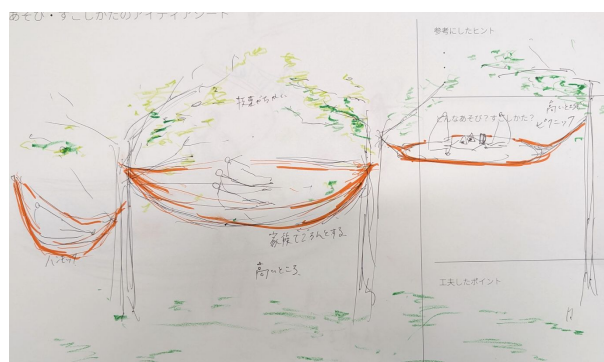
床からのジェット噴水、横
からのキャノン砲、びしょ
濡れで遊べる広場

跳んだり跳ねたり



カラフルな
ふわふわドーム

揺れる、回る

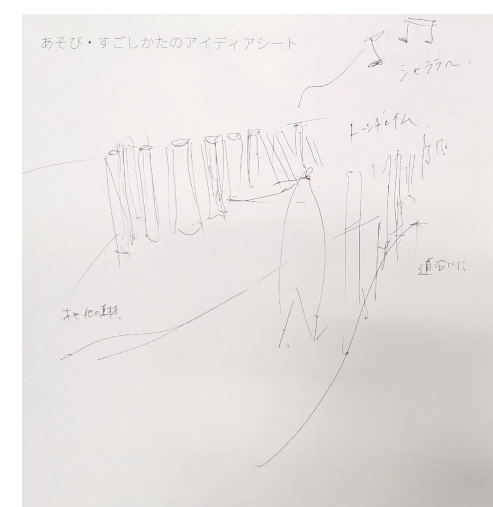


木と木のあいだに吊
られた、複数人乗れ
るハンモック

車椅子でも体験できること、見えなくても触って楽しめることなど、多様な視点でできる「五感を使った体験」について発想が広がりました。

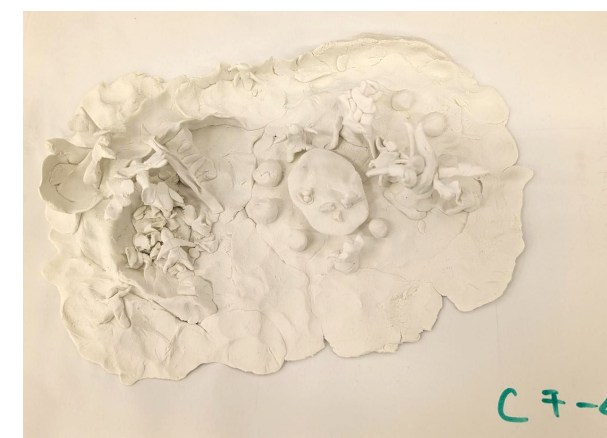
Cグループ

感覚刺激(視覚・聴覚・触覚)で楽しむ遊び(聴覚)



道沿いに木や他の素材で
できた木琴?のような音が
でる。ものが並んでいる
(シャララー♪)

休む・過ごす・安心できる環境



森の中で食事がで
きるテーブル・椅子
秘密基地

活発に遊ぶことだけでなく、ゆっくり「過ごす」という視点でのアイデアも広がりました。木のそばで過ごす、ひとりでゆっくりできる、など、「遊ぶ」に限らない過ごし方もイメージできる公園にすることが、心理的なハードルを下げる要因のひとつになり得そうでした。

ワークショップ③ まとめ

公園の既存の良さを活かしたインフラ整備の上に、今回さまざまな障害のある当事者やご家族の方々から出たアイデアも踏まえて多様な「遊び・過ごし方」を盛り込んで設計を進めます。「いろんな過ごし方をすることが当たり前」な設計にすることで「心理的なハードル」も下げられるように整備計画に進めます。トイレの整備については、多様な障害種別や利用シーンを想定して、より実態にあった整備ができるように引き続きヒアリングを行います。